

1 学校教育目標

考える子（知） 心豊かな子（徳） たくましい子（体）

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・学力の向上に取り組む学校	・居心地のよい学校づくりに取り組む学校	・体力向上に取り組む学校
○児童・生徒像	・考える子	・心豊かな子	・たくましい子
○教師像	・授業改善を推進する教師	・児童の可能性を引き出す教師	・子供と共に汗を流す教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

西新井駅から北へ徒歩7分程の位置にあり、近くにはギャラクシティがある。40周年で建て替えた白を基調とした近代的・開放的で木材を使用した温かみのある教室、暖房設備のある広い体育館は地域の誇りである。全校児童数は約500名、区内で中規模の学校である。

昨年度、これまで以上に組織の力を高め、全職員で統一した取り組みや指導を行ってきた。そのため、特に生活指導において大きな成果をあげることができた。各学級が落ち着いた雰囲気の中で授業に臨み、学習を行いながら学力の向上を図ってきた。また6年生が全校朝会で行う代表挨拶を継続することで、最上級生としての誇りと責任感を高め、学校の機動力となった。

10月の運動会、12月の展覧会、3月の卒業式と、節目の大きな学校行事では、児童が活躍をする様子を保護者や地域の方々に示すことで、物事に前向きに取り組む本校の児童の様子を伝えられた。しかし依然として、学力も体力も伸びしろが多い。教員集団の力を一層高めて、本校児童のためにたゆまぬ努力を続けることが、引き続きの課題である。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H29	H30	R1	R2	R3
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな人間性の育成	○	○	○	○	○
3	体力の向上	○	○	○	○	○

5 令和元年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題				達成度 ◎○△●	
授業力の向上と基礎学力の定着率向上		国語 80.0 算数 80.0 年度末：4月数値と同程度	国語 79.9 算数 81.9 年度末：国語 73.1 算数 71.3 全体：72.2 6年英語 94.2	2年と6年の国語・算数の通過率が区平均を上回った。それ以外は、どれも区の平均に及ばなかった。全体では、国語も算数もほぼ区平均と同程度。3年の国語、5年の国語が区平均との差が大きく、課題である。				○	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	朝学習	全児童 国語	週3回 年43時間 程度 始業前15分	【指導体制】担任 【取り組みのねらい】 新出漢字等の言語事項の習得 【使用教材】 漢字ドリル・ワーク等 漢字等の言語事項の指導を行い、読み書きの練習を継続して取り組ませ、習得させる。	ワークの 漢字50問 テスト	正答率80%以上の児童が8割以上	学習の時間は計画通り確保し、各学級で指導した。漢字習得強化月間を指定し、全校で取り組んだ。9割以上が合格。	国語科の年間指導計画に位置付け実施することで、通常の間における国語科の指導にも余裕が生まれた。	◎
2 改善	補習タイム	全学年 正答率 50%未満 国語・算数	1～3年 毎週月曜日放課後 4～6年 毎週木曜日放課後	【指導体制】 担任・少人数担当・専科 【取り組みのねらい】 学習中の単元でのつまづきを解消 【使用教材】 教科書・ドリル・プリント 授業中の終わらなかった課題、理解や習熟が不十分なところを補う。 【改善点】できるだけ少人数で実施し、手厚い個別指導により、下位層の底上げを図る。	ワークテスト	全員が正答率80%以上	正答率80%達成は93%	出張等で担任が不在の学級は、学年で対象者を1つの教室に集めて実施した。 目標を達成できなかった児童については、今後も継続して取り組ませていく。	○

3 継続	夏休み補充教室	全学年 正答率 50%未満 国語・算数	夏季休業 期間 低学年3日 中学年5日 高学年3日 1日60分	【指導体制】 低・高学年…担任 中学年…担任、専科 【取り組みのねらい】 夏季休業前までの学習の復習 【使用教材】 ドリル・プリント ドリル1ページまたは、プリント 1枚を終えるごとに答え合わせをし、解説しながら間違いを直させる。	最終日にミニテストを実施	全員が正答率80%以上	達成した	全職員で分担し、補充指導を実施できた。	◎
4 継続	あだち小学生夏休み教室	3・4年生 希望者 20名 算数	夏季休業 期間 5日	【指導体制】講師（外部事業者） 2～3名 【取り組みのねらい】既習内容の復習、つまずきを解消 【使用教材】ワークを活用した補充学習	最終日にミニテストを実施	全員が正答率80%以上	3年・4年算数で基礎各2クラスを実施。 正答率80%以上は未達成	事前事後のテスト結果からは、課題解決には至らなかった。 次年度は実施学年も検討する。	●
5 継続	そだち指導	3・4年生 国語・算数	週3日 夏季休業 期間に10日	【指導体制】そだち指導員1名 【取り組みのねらい】つまずきの解消 【使用教材】ワーク等を活用した補充学習	卒業試験 校内委員会	対象児童ごとに達成基準を設ける。	対象児童への指導は有効であった	児童のつまずきを解消するとともに、自信を持たせることができた。今後も継続して取り組んでいく。	◎
6 継続	教科指導専門員の指導	若手教師	通年	教科指導専門員による定期的な授業観察と指導 指導略案と板書計画の作成 指導後の振り返りと管理職による指導	足立スタンダードに沿った授業展開	全教師が全教科で100%	達成率は90%	計画的に授業観察と指導を行うことができた。足立スタンダードに沿った授業展開は完璧ではない。継続して取り組む。	○
7 継続	幼保小連携	1年担任	通年	ブロック会議や交流研修、公開保育参観等により園児の実態や保育園の指導を理解し、日頃の指導に生かす。 入学時からスタートカリキュラムに沿った指導を行う。	研修報告書 週の指導計画		計画通り実施	スタートカリキュラムを活用した。 参観や交流活動は、計画的に実施することができた。	◎

8 継続	小中連携	全教師	通年	第十中学校、梅島第一小学校との3校の連携を行う。 指導案検討と授業公開により、教科の専門性を高め指導技術を磨く。 足立スタンダードに沿った授業形態及び学習内容 言語活動や体験学習の充実			計画通り実施	3校とも研究授業を計画通り実施した。本校では授業者を絞ることで、指導案検討や協議会が濃密になった。	○
9 継続	授業力向上	全教師 全教科	通年	指導教諭による模範授業を参観する。 他校の研究発表会に参加する。 学習規律を統一し、落ち着いた環境で学習に取り組ませる。 管理職による日々の授業観察と指導の繰り返し。	報告会 報告会 授業診断	全職員が1回以上 全職員が1回以上 肯定的評価90%以上	全員が模範授業を参観し報告を行った。 肯定的評価90%	参観後の報告はC4thの掲示板を使うなどして、効率化を図った。情報を共有し各自が自身の指導に生かすことができた。	○

重点的な取組事項－2		豊かな人間性の育成				
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果		(昨年比)	コメント・課題	達成度
自己有用感を高める	肯定的評価80%以上	大人になった時の夢や希望がある 自分のことが好き	よいところがある	85.1% (+3.3P) 79.3% (+8.9P)	昨年に比べてどちらの数値も上昇した。	○
B 目標実現に向けた取組み						
項目	達成基準	具体的な方策		実施結果	コメント・課題	達成度
みそあじの徹底	みそあじを意識して実行したという肯定的評価、児童アンケートで90%以上	身だしなみ、掃除、挨拶、時間を守る、の項目について、全校統一して指導をする。		肯定的評価は85.3% 全校朝会の講話や学校だよりでも周知し、指導を重ねてきた。	身だしなみ・あいさつは、地域の方々からも高く評価されている。	○
特別活動の充実	学校が楽しいという肯定的評価90%以上	係活動、委員会やクラブ活動を充実させる。行事に向けて目標を設定し事前事後指導を行う。		肯定的評価は93.0% 全17学級で、100% 3学級 90%台 9学級 80%台 4学級	豊かな人間性の育成を目指し、今後も特別活動を充実させていく。	◎
読書活動の充実	年間読書冊数、全校で5万冊以上	原則週3回、月・火・金に昼の読書活動を15分間実施する。		9月末で読書冊数は323,728冊 1月末で56,072冊 12月までの貸出冊数23,999冊	図書館支援員と連携し活動の一層の推進を図る。	◎

重点的な取組事項－3		体力の向上				
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果			コメント・課題	達成度
体育科授業の改善	東京都体力調査で前年度を上回る	1年男子3項目 4年男子5項目 1年女子5項目 4年女子5項目 それぞれ昨年度を上回った	2年男子5項目 5年男子5項目 2年女子5項目 5年女子2項目	3年男子6項目 6年男子3項目 3年女子5項目 6年女子2項目	体力合計点では、男子2・3・5年、女子1・2・3・4・5年が昨年度を上回った。区平均からは6年の数値が課題である。	○
B 目標実現に向けた取組み						
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度	
外遊びの励行	90%の児童が休み時間に外遊びをする	校内で統一した対応をとり、外遊びを励行する。教師も進んで外遊びを行う。クラス遊びを定期的に行う。	外遊びをしていると回答した児童の割合は75.3%	教師の外遊びと共に、クラス遊びの充実を図る。	△	
体育科授業力の向上	校内体育研修6回以上	実技研修を行う。年間指導計画を改善する。体育環境整備を推進する。	集団行動、スポーツテスト、水泳指導、なわ跳び、跳び箱、持久走について研修を実施。	教員の指導力向上と児童の体力向上につながっている。	◎	
体育に関わる朝会・集会	意図的計画的に実施する	持久走記録会を行う。なわ跳び週間を設ける。長なわ大会の実施。	計画通り実施した。	反省を生かし内容の充実も図れた。	◎	

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

学力向上に関しては、日々の授業の充実を第一に考える。教材研究や研修の充実を図り、足立スタガードに則った授業展開を一層推進する。自己肯定感や自己有用感を高めるために、QU 調査結果を参考に日頃からの言葉掛けや教師の関わり方を工夫する。体力向上は引き続き課題であるので、外遊びの励行、体育研修による指導力の向上、持久走記録会やなわ跳びの取り組みを体育部が中心になり充実させ、体力向上に結び付けていく。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

創立当初から伝わる「養根開花」の言葉を具現化するために、皆様に支えられながら教育活動が推進できることに深く感謝しています。今後も地域の学校を温かく応援してください。開かれた学校づくり協議会やPTA活動を通して、将来にわたり地域で活躍できる「島根っ子」を育てて参ります。お気づきの点がありましたら、いつでもご意見をお寄せいただければ幸いです。

(3) その他（学校教育活動全般について）

これまでのよき伝統を引き継ぎながらも改革を推進し、新しい島根小学校を作り上げるように努力します。基礎学力の定着、豊かな心の育成、体力の向上を図るために、地域の教育力を一層取り入れ「島根っ子」の根を、太く広く深く張らせていきたいと思っております。令和3年度、創立60周年の節目に向かい、地域・保護者・学校の三者が手を携え、伝統ある島根小学校を一層魅力ある学校としていきます。